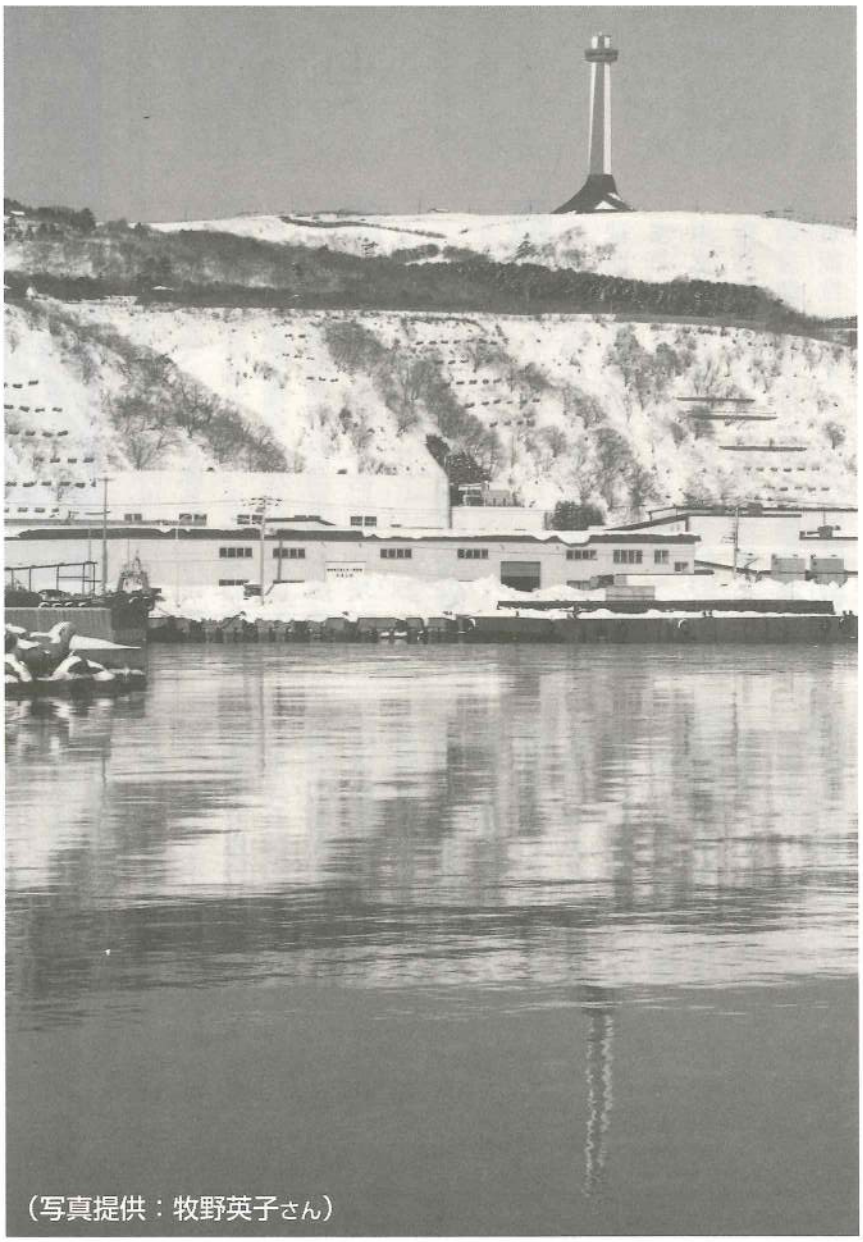
わっかない 市議会だより

WAKKANAI CITY

平成14年5月1日
第99号
●発行 稚内市議会
●編集 編集委員会
●電話 23-6161番(代表) 内線281



(写真提供：牧野英子さん)

議会日誌

2月

4日　建設産業常任委員会
5日　第1回臨時会(本会議)・議会運営委員会・各会派代表者会議・八千代市議会議員来局
20日　総務常任委員会・各会派代表者会議
21日　民生文教常任委員会
25日　建設産業常任委員会・議会運営委員会

3月

1日　第2回定例会(本会議)・議会運営委員会・予算特別委員会
7日　本会議(一般質問・ナイター)・議会運営委員会
8日　本会議(一般質問・ナイター)・議会運営委員会
12日　各会派代表者会議
13日　議案特別委員会・議会運営委員会
14日　議案特別委員会・正副委員長会議
15日　議案特別委員会・各会派代表者会議
18日　議案特別委員会・議会運営委員会・各会派代表者会議
19日　議案特別委員会・総務常任委員会・議会だより編集委員会
20日　本会議・議会運営委員会
22日　消防議会
28日　函館市議会議員来局

4月

15日　上野市議会議員来局
17日　東北市議会議会議長会定期総会(青森市)
20日　今治市議会議員来局
22日　各会派代表者会議
25日　北海道市議会議長会定期総会(稚内市)・下関市議会議員来局
26日　各会派代表者会議・議会運営委員会

6月定例会の日程

6月11日
○本会議
・一般行政報告
・予算・条例・単行議案の上程

12日～16日　休会

17日～18日
○本会議
・一般質問

19日
○議案特別委員会

20日
○本会議

本会議は5階議場で、議案特別委員会は5階正庁で開きます。

…3月定例会 代表質問から…

各会派を代表して6人の議員の代表質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

政友会 前田修悦議員

行政機構改革について

質問 ①今回の機構改革についての市長の考え方は。②総合窓口課の体制は万全か。③新設される物産営業係の役割は。

答弁 ①業務の多様化で細分化された組織を再編し大組織とすること、複数の部署が行っている類似業務を一元化し、わかりやすい組織とすること、さらに政策担当部門、事業部門など役割を明確に分担した機能別の組織とすることであり15年の機構改革も含め組織を見直した。②市民が訪れる窓口部門は利便性を高めるうえでも重要な部署であり、支障を来たさぬよう万全の体制で臨む。③物産の振興と流通や異業種交流などを展開していく、地場産品の販路拡大を進めることで、産業・経済の活性化に繋がると考えている。

ウエンナイ川の河川改修について

質問 ①開発行為許可申請から一連の対応説明を。②市長が言う人にやさしいまちづくりの考え方や「ウエンナイ川水系河川管理計画」と今回の開発行為との整合性。③進達に際し道との事前協議を行ったか。④進達する可能性はあるのか。⑤開発行為許可申請にある設計方針で、造成後の用途内容を市長は認めているのか。

答弁 ①平成13年11月9日に開発行為者と協議を行い同意し、同日許可申請の提出を受付けている。また、河川改修の流域地区説明会を2回開催している。その間、開発行為申請者の代理人弁護士より「開発行為申請書の進達を早期に行う」旨の内容証明が送付されている。また、宗谷支庁長より標準処理期間を大幅に超過している理由を求められ、住民の理解を図りながら取り進める必要がある旨の報告をしている。②河川空間における自然環境の充実を図るとともに、市民・流域住民と一体となった総合的な管理に務めることにより、整合性が図られると考えている。③協議は行っていない。④宗谷支庁長は進達受付後、審査、関係部局との調整を行い判断し、市を通して開発行為者に通知することとなっている。このことから、許可、不許可の判断は北海道が申請書を受けてから判断することである。⑤大型ショッピングセンターの他、一戸建専用住宅、共同住宅を建設する内容になっている。

市政クラブ 竹村海一議員

行財政について

質問 ①平成14年度予算は緊縮予算を組んでいるが産業振興に重点をおいた予算編成が必要でなかったか、また、今後市税や交付税の推移、経常収支比率、地方債許可制限比率はどうなるのか。②業務委託の考え方と、今後5年間の職員数は。③行政評価の手法は。

答弁 ①新年度の一般財源の大幅な不足は避けられない問題となっている。一方で、低迷する経済の活性化を図ることは本市の課題であることから建設事業は前年並み予算を確保している。市税については大きく前年度を下回り経済情勢を考えると今後もこの状況で推移すると見込んでいる。地方交付税も増額は期待できない状況である。経常比率は経常一般財源の減

市民クラブ 中井淳之助議員

第一副港周辺再開発について

質問 ①第一副港周辺再開発と近隣地域の各開発構想・計画との関係、整合性のとり方、手法等は。②基本構想をどこが主体となって推進するのか。また、構想のビジョンを市民、事業者に示し民間の参入を促すのは行政の役目では。③産業クラスター研究会が示した再開発の方向性の見解は。

答弁 ①現在、このエリアで進めている計画が出揃った所であるが、第一副港周辺再開発についても今年度末にまとめられる。それぞれの計画が開始された時期が異なることから、個別に計画が進められている印象があるが、これまでも、庁内横断的な協議を行っており、このエリア全体の整合性を図っている。②再開発計画については、民間の事業者が主体となって進めていく事を前提としているが、市としてもこれらの動きに対応するため、新年度の機構改革において、専門部署を設置する。③従前より港町としての風情や沖合漁業のシンボルとして魅力的な場所であることから、この事業を計画したものであり、規

収に伴い比率の上昇が懸念される。地方債許可制限比率は急激な上昇は避けられるものと考えている。②運営経費と効率的な行政運営・住民サービスなどの観点から行っている。今後5年間の職員数は減員となる見込みである。③計画財政課計画係が担当し平成15年度からの導入に向けて検討を進めていく。

サハリン交流について

質問 ①サハリン事務所の活動方針と活動計画は。②サハリン州友好都市との具体的交流計画は。③稚内・コルサコフ定期航路の支援策は。

答弁 ①方針は、関係機関等と連絡調整を図る。経済、友好交流に関する調査や支援を行う。様々な分野で情報を収集し本市産業の振興に供すること。本市の情報をサハリン州に発信すること。計画は、地下資源開発プロジェクトに関する情報収集を最重要課題として取り組むこと。サハリンビジネスに参入する企業への側面的支援など経済交流を促進していく。②本年8月を目処にネベリスク市と友好都市提携30周年記念事業を双方で実施する考えである。ユジノサハリンスク市とは市長の他、代表団を招待し記念行事を実施していく。コルサコフ市は定期フェリー利用促進並びに水産問題を協議する会議を本市で開催する予定である。③将来性の見込まれる航路とはいえ、現時点における採算性は極めて厳しい状況にあることから航路継続のための必要な支援を積極的に行っていく。

公明党 越後谷 亮一 議員

行政改革について

質問 稚内市としても行政のムダを無くし、経費節減のためのコスト計算に基づく政策評価の導入を検討すべきでは。

答弁 政策評価に対する取り組みについては、新年度における機構改革において、企画課と財政課の業務の統合を図り限られた経営資源の中で、政策のスクラップ・アンド・ビルドを推進する新たな部署を設置する。この部署において市の総合計画を重視した政策の策定や各政策の取捨選択と経営資源の重点配分を行うとともに、コスト意識に基づいた事業・施策の企画立案を進めていく。また、既に取り組みがされている評価システムの事例について、その成果や有効性も検証しながら本市の都市規模や行政システムに適応した独自の評価システムを導入すべく、新年度においても調査・検討を重点的に進めていく。

緑の保全について

質問 ①林業のもつ公益的な機能を高めるため、育林間伐等の公的助成の強化と官民財が一体となった森林保全基金の創設をしては。また、市民の保健休養や山地の多角的利用、農林・漁業・畜産加工等を連結した組織を立ち上げ全市民的な立場から取り組んでは。②市街地区域の拡大を目指し、点的な緑化から、緑のネットワークを推進すべきでは。

答弁 ①森林資源は木材生産の外に、水源の涵養、環境保全、保健休養機能、レクリエーション機能などの公益的機能を有する貴重な財産である。これら森林整備の促進については、稚内市森林整備計画に基づき計画的に実施している。市の単独事業としては、農・漁業者協力のもとで継続実施している勇知川流域の河畔林植栽や市民を対象にした植樹祭や苗木の無料配付は、緑化思想を啓蒙する貴重な機会と捉えている。更に不在森林所有者に対しても森林組合や宗谷支庁等の関係機関と連携を取りながら造林推進と環境保全に努めていく。基金創設については、今後の研究課題と捉えている。②平成14年度中に「緑の基本計画」を策定し、本市の緑施策を総合的に見直し、21世紀に向けた緑の各種施策について体系的に位置付け、計画的な緑地保全と創出を図っていく。

葬祭場の必要性について

質問 現在、市内で行われている葬儀は、大半を町内会の方々が担い、町内会館等近隣の公共施設を利用しているが、地域の核施設として使用するとき、いつ入るか分からない弔事での利用が大きなネックとなっている。このような課題解決をするため葬祭場の必要性を論議すべきでは。

答弁 町内会館等が葬儀会場として利用されている現状において、地域の交流拠点としての利用を難しくしている。地域においても葬儀の手伝いをする負担が重くなっているのも承知している。葬祭場の建設については、稚内農協による斎場構想があきらかにされていることから、市としては、この事業計画の方向性を見据えながら、必要に応じて関係業界や町内会とも話し合いを行っていきたいと考えている。

模や配置は全体の整合性の中で決まっていくと考えている。

民主クラブ　生田目　幸　男　議員

産業振興について(酪農)

質問 稚内の酪農業は、13年度に発生したBSE問題により計り知れない打撃を受けている。また、経営者の高齢化・後継者不足・花嫁不足問題などは解消されていないが、①酪農振興を図るうえで様々な課題があるが、解決に向けた市の姿勢について。②国営事業の取り組み状況は。

答弁 ①市では12年4月に関係機関・団体の長で構成される稚内市農政推進会議の協議を経て、地域農業マスタープランを作成したが、まだ多くの課題が含まれており、引き続き同会議やその幹事会などで現状における問題点や農業施策等を協議している。今後、農畜産物の安全性が求められている中で、高品質乳の生産、新たな担い手の育成・確保、さらに道東地区と比較して大きな違いがみられる大型経営の実現化など多くの課題解決に向け、積極的に取り組んでいく。②総合農地防災事業は13年度に新規調査地区として採択され現在調査中であり、新沼川かんがい排水事業は、環境保全型かんがい排水事業へ移行すべく地元の関係機関と調整を行なっており、14年度中に調整が終了することになっている。

産業振興について(観光)

質問 現在、関係者の努力により初の台湾観光客を乗せたチャーター便が就航するなど、新しい試みがなされているが、稚内に来る観光客のニーズを的確に捉え、稚内の自然・食材をいかせる受け入れ体制づくりを進める必要がある。そこで、先日新聞報道にもあった北海道のくにづくり行動計画も考慮した今後の体制づくりについて。また、温泉童夢に併設する宿泊施設を建設し、観光の活性化を図るべきでは。

答弁 質問の「くにづくり行動計画骨子」は、道議会経済委員会によって報告されたものであり、市としても北海道と連携を図りながら、各施策を効果的に活用して、魅力ある観光地になるよう推進していく。温泉童夢に併設した宿泊施設建設については、かねてより社会保険庁などの関係機関に対し宗谷パレス改築を要望してきたが、現在の国の行革の流れからみて実現は難しいと考えている。また、市直営の宿泊施設建設は現在の財政状況等を考えると困難な状況である。

日本共産党　三　谷　典　子　議員

南地区の開発行為について(河川行政と開発行為)

質問 ①開発行為申請の協議に同意し、捺印した市長が、なぜ住民説明会に一度も出席しなかったのか。②新たに開発行為をしようとする場所には市の土地と大蔵省の道路用地がある。この土地とウエンナイ川の河川敷地は市民の共通財産であり、一民間業者の利益のために市民の同意も得てないまま進めるのは河川管理者としておかしいのでは。この際、開発行為計画は白紙に戻しては。③河川切り替えに伴なう影響や河川流域住民の不安をどう認識しているか。

答弁 ①今回の説明会は、町内会への案内文書のとおり、流域の皆さんに開発行為に伴なう河川改修計画の概要を説明する場であり、一般的な担当部局が行なう工事説明会との認識から出席しなかった。②市としては開発行為者の意向による経済活動に対し、行政としてその活動を妨げることはできないものと認識している。③説明会出席者やウエンナイ川を守る会の申し入れなど、地形や地質、環境を含めた自然、生活環境に関して多くの発言があったという報告を受けている。こうした意見や不安等については、今後計画されている河川工作物の安全性に対する検討や様々な問題点の整理を行っていく。

介護保険について

質問 ①15年度から19年度までの第2期介護保険事業計画策定はどのように進められるのか。②特別養護老人ホームの入所待機者数の現状からみて、施設増の必要性は。

答弁 ①計画の策定は、介護保険の実施に併せて設置した介護保険運営協議会で検討することになり、14年度中に5回程度の審議を行なう予定になっている。これにより、15年度から3年間の介護保険料が決定するため、計画策定にあたっては、サービスの需要と供給のバランスを考慮する必要があると考えている。②特別養護老人ホームの待機者の状況から、増設の必要性は十分認識している。市としては、介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画の中で、どの程度の増床が必要か検討していく。しかし、ベッド数を増やすことは介護保険料の引き上げにもつながるため、市民の理解を得ることが必要であり、慎重に判断したいと考えている。

…総括質問から…

各会派の持ち時間の範囲で9人の委員から総括質問が行われました。主な質問を紹介します。

政友会

小林侃四郎委員

●市の財政状況をバランスシートにより広報紙等での公開を
●市税高額滞納の件数は、更に徴収の強化期間を多くしては
●酪農の具体的な振興策や農家の花嫁対策の取り組みは
●緑化推進のため適正に市有林を管理し植樹にも取り組むべき
●原魚輸入の際の運賃助成や水道料金の減免等で水産加工の復活を
●抜海港の蓄養施設の今後の取り組みや計画は
●北地区、中央地区、第一副港、中央埠頭ターミナル等各々の開発構想の検討内容は

公明党

館農恒一委員

●BSE問題の経過、農家の実態、宗谷黒牛の評価は
●クリーン農業と糞尿対策、乳製品普及の取り組みは
●若年者雇用の実態と企業への協力の要請は
●サハリン館の収支や民営化する時期、更に空きビルへの移転計画は
●サハリン事務所の開設にあたり、これまでの成果やサハリン進出企業に対する対応は
●新図書館には新エネルギーを導入しての熱源対応を
●道が策定した河川空間管理計画が市の準用河川に該当しないとの判断基準は何か
●ウエンナイ川改修に際しては議会が提出した意見書等の内容を考慮しサハリンからのパイプライン構想の取り組みや努力は
●カラフト記念館の稚内への誘致運動に対する今後の取り組み姿勢は

前田修悦委員

●ウエンナイ川の河川改修計画の申入れがあった時期はいつか、又市の進め方に問題が多いと考えるが、それらについて理事者の考えは
●道へ開発行為を進達する際、市民や議会の意見がどれだけ反映されるのか
●進達後の許可等の経過を議会に報告するように
●学校給食センターの改築時に（仮称）農水産物高付加価値開発センターを設けることはできないか

市政クラブ

河野至緒委員

●業務委託の基本的な考え方を法律解釈を含めて説明を
●温泉童夢の委託料積算根拠や内容は、更に委託先の振興公社が他の受託も増える中で遂行できるのか
●道立ふれあい公園が市の管理となる時期や委託先は、更に予算規模はどの位になるか
●宗谷の育てる漁業の研究に対して積極的に漁組と話し合って助成を
●にしん放流の成果が留萌にはあるが更に北の稚内にも期待がかかるがどうか
●農協の合併、農機具の共有化により生産を高め負債を減らす必要性は
●観光振興策として西稚内地区を夕陽の見える海浜クアリゾート開発を考えるべきでは
●新学期からの学校での総合学習の取り組み内容の説明と教育委員会の指導性が期待されるが
●総合学習用に学校裁量で使用できるような予算措置を
●学校図書室の整備と図書館の連携についての考えは
●北星大学の今年の入学状況は、又自主運営に対する市の係わりと大学側の将来ビジョンは
●記念植樹の現状説明と生誕記念植樹実施の考えは
●保育所料金の軽減策は
●学童保育の環境整備が不十分では

市民クラブ

山田繁春委員

◇市立病院の経営問題について

●医業収益が10年度と11年度で10億円以上減っている理由は、更に院外処方になって大きな減収となったが、当時の試算は正しかったのか
●診療材料費比率で薬品以外の材料費が過去から継続して高いが
●職員給与費は全体比率の適正値を超え、特に事務職で高いが
●人工透析を必要とする患者が増えた際に現体制で受け入れは可能か

◇国立療養所の経営移譲について

●職員の採用予定数や現在の職員を引き継ぐ際の国の補助等の説明を
●市立病院との職員の異動交流は
●収支計画を明らかにできる時期は

◇補助金について

●空港高度利用協議会の繰越額が多いが検討の経緯や今後の方針は
●暴力追放運動推進協議会と防犯協会は整理、統一はできないか
●交通安全推進委員会の業務は市が直接できないのか
●観光協会への補助内容は早期の整理を
●社会福祉協議会は市から補助を受けながら他の団体に補助していて、更にこれらの団体は直接市からも補助金を受けていることの説明を
●幼稚園の就園奨励補助金の必要理由や保育所との関係は、更に幼稚園に対する運営費の補助基準は

日本共産党

斉藤信義委員

◇行政機構改革について

●来年の機構改革終了時の職員数は
●企画調整部に財政課が移管されるが権限の集中化にならないか
●子ども課の新設は教育面からは評価できるが福祉の側面からはどうか
●2ヶ年での機構改革は市政の継続性から市民には戸惑いがあるのでは

◇子ども虐待と養護について

●食事のあたらない子どもへの対応や措置は
●児童相談所分室の職員の増員や一時預かり所を設ける等の要請を

◇学校週5日制について

●新学習指導要領の実施に際し家庭では学力低下の不安があるが
●読書の習慣をつけ学校図書の活用を、更に市独自で司書の配置を
●選択教科などの幅広い要求に空き教室の利用で対応はできないか
●科学館、水族館を無料に、更に温水プールやスキー場リフトの利用料金減額は
●少子化による子供会活動の影響は
●校外活動の指導者不足に対する措置は

◇介護保険について

●生活保護を受けるには至らない低所得者の保険料減免は
●特養老人ホームの入所待機者数は、更にホーム増設の考えや民間で設置する際の規制、基準の説明を

民主クラブ

長谷川喜市委員

◇児童館について

●設置目的や運営方法は
●運営委員会の設置が1ヶ所しかない理由は
●複合施設での町内会使用分の光熱水費の負担区分は
●運営の統一化に対する姿勢や考え方は

◇教育問題について

●国民の祝日を学校の授業にしている状況は
●学校の冬、夏休みの執行状況と今後の指導は
●サハリン事務所開設の費用対効果は、更に経済効果をどう考えるか
●季節労働者の現状と緊急雇用交付金の活用や安定した雇用対策は

市民改革ネット

東方豊松委員

◇市政運営に係る各種運営審議会、運営協議会等と地方分権について

●建設業退職金積立制度の徹底を
●信頼される病院の体制づくりを

松本勝利委員

◇河川管理等について

●市民は河川法の解釈で市に不信感を持ったが法の考え方と管理方針は
●道の河川空間管理計画と市の都市計画マスタープランとは整合性がなく、プラン作成時にワークショップ会議で説明をしたのか
●開発行為申請に係る経過説明と今後は申請手続き等を条例化し、明確にしては
●道の認可後に河川工事についての住民説明会を実施する考えは
●都市計画審議会の審議内容、法律改正に基づく役割は
●都市計画審議会の出席率、案内はいつの時点でだされるのか、更に審議資料の事前配付はしているのか
●住民の不利益、特にトラブルや誤解を生じ易い問題に係わる行政手続条例の不利益処分や聴聞会開催についての説明を
●現在検討中の環境基本条例の審議会での審議内容とこれまでの経緯は、又環境は過去、現在、未来からの視点が必要とされるが条文中にある環境創造の意義は
●図書館協議会の新図書館建設を含むこれまでの協議の状況は
●図書館に訪れた人への応対が良いが特に職場内で議論や検討がされているのか

◇市職員の自主研修活動と行財政革について

●自主研修は有意義と思うが最近発表された市の政策研修の内容は
●市民に対する言葉かけの職場内研修の取入れを
●部課長も市民と接触を持つ、徴収等の職場内研修体制は

…各委員会から…

▲予算特別委員会▼

◇一般会計

●投票率が著しく低い投票所の対応策等について

●温泉童夢利用後だけでも玄関前からバスに乗れるようにできないか

●市町村備荒資金組合の組織内容の説明と負担金の種類は

●デイサービス事業利用見込み者数減等の内容分析や今後の対策は

●新規就農者の11～13年度の実績と、中途就農者は支援対象になるのか

●BSEの影響による農家の減収等の説明を

●天塩の屠場休止による影響と行政の認識について

●BSE対策の補助金による効果と今後の見込みは

◇特別会計等

〈病院事業〉

●入院、外来共に一人当たりの単価が上がり収入が増えている理由は

●医業費用の原価償却費を大幅に減額したのは当初見積もりの誤りか

▲議案特別委員会▼

◇予算（一般会計）

〈町内会、まちづくり委員会に関して〉

●町内会連絡協議会独自で事務局を持つことで各町内会の負担が増えるのでは

●まちづくり委員会の活動費補助の内容は、旅費の補助は他の委員会と格差を生まないか

●宝来地区など3つのまちづくり委員会が北地区開発期成会と地域を重複するが調整役やその方法は

●市職員による政策研修の内容を市民にも広報を

〈高齢者のサービス事業に関して〉

●バス料金が100円の負担になったが乗り継ぎの場合も全区間に適用すべきで地域により不公平感がある

●低所得者に対する減免制度の預金が5万円以下との要件を除くべきでは

〈稚内温泉について〉

●管理委託するにあたり4、500万円の赤字予算の編成に対する考え方は

●委託により民間活力を導入することによる利用者の増加策は

●高齢者無料入浴券の交付状況は、更に利用施設の拡大を

●児童館運営の議論が今後増えると予想され委員報酬予算が少ないと考えるが、更に有資格者である厚生員の賃金体系の改善を

●年金業務が一部社会保険事務所に移り、更に機構改革の影響もあって市民に十分な対応ができるのか

●難病患者に対する居宅支援事業は需要に合っているか、又ホームヘルパーサービスを精神障害保健事業にも拡大し、質向上をはかるべきでは

●緑化木植栽の委託先や内容及び苗木の種類は、更に活着率の調査研究を進めては

●市の事業でもない白鳥への給餌業務委託は役割や負担の範囲が不明瞭

●観光費の業務委託で大沼の額が突出しているが理由は

●サハリン事務所の予算の独立化を

●宗谷岬の音楽放送が各店でまちまちで、放送施設の整備で統一化を

●台湾観光客用の中国語のパンフレットは誘致用であって、案内用には英語版がより必要なのでは

●緑と太陽の村の利用状況と今後の方針は

●水族館は利用者減や施設老朽化が収入減少の要因と思われるが今後の方向性や新たな展開は

●自然の家の主催事業減少の理由は

●奨学資金の貸し付け対象を市内修学だけでなく市外にも拡大を

●新図書館蔵書データベース作業の進捗状況と図書購入予定冊数は

●介護認定の認定書交付時に税の障害者控除の説明を

〈病院事業会計〉

●研究研修費の旅費や雑費はどのような使われ方をしているのか

●医師等の学会や研修会への出席の選択基準等の説明を

●医業収益は診療報酬の改定に伴う減収を見込んでの予算編成か

●看護婦が減っているが理由に超過勤務等でハードになっていることもあると思うが業務量との関係は

●診療報酬改定は特に公立病院に影響があり、今後は予算再検討の必要性も考えられ早い機会に報告を

●事務職員の人件費が他市との比較でも多い、外部委託も含めて理由の調査を

◇条　例

〈機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について〉

●新病院開設準備室は総務常任委員会で説明したように部長職の配置か

●消費生活係がなくなるが、相談業務や消費者協会との関わりは

〈稚内市高齢者サービス事業条例の一部改正について〉

●あんしんコールの1件あたりの諸経費と老人夫婦世帯等の1人暮らしに類する方にも給付拡大の検討を

…採択された請願及び要望意見書…

◇自然環境を破壊し水害の危険を増幅する様なウエンナイ川上流の河川切り替え工事計画の一時中止を求める請願及び要望意見書

◇「食品衛生法の改正・運用効果を求める」請願及び要望意見書

◇「地域雇用対策の拡充を求める意見書」に関する請願及び要望意見書

◇負担増反対、医療制度の抜本改革を求める請願及び要望意見書

◇平成十四度酪農・畜産政策・価格対策に関する請願及び要望意見書

◇相次ぐ食品表示偽装事件の徹底解明と食品表示制度の改善・強化を求める要望意見書

本会議と各委員会の出欠状況

区分／議員名	出席すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数	区分／議員名	出席すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数
石塚　公次	13	9	4（私）	中井淳之助	23	23	
岡本　雄輔	23	23		藤谷　良幸	13	13	
小林侃四郎	13	12	1（私）	山田　繁春	13	13	
田森　和文	23	23		生田目幸男	13	13	
前田　修悦	13	13		長谷川喜市	13	13	
河合　慎一	15	15		松本　勝利	23	22	1（私）
河野　至緒	13	13		斉藤　信義	13	13	
菅原　清治	13	13		三谷　典子	23	22	1（私）
竹村　海一	13	13		魚住　光信	23	23	
三宮　正人	23	23		東方　豊松	23	23	
越後谷亮一	23	22	1（私）				
鈴木　茂行	13	13					
館農　恒一	23	23					

注：(1)出席すべき日数は、２月１日から４月30日までの状況。
(2)欠席日数欄中(公)は公用、(私)は私用、(病)は病気の意味。

写真募集（8月号）

議会だよりの表紙に自分の撮った写真を載せてみませんか。

市民のみなさんから写真を募集いたします。

載せたい写真を６月10日までに下記宛に送付又は持参して下さい。（紙面の構図上、写真はできるだけ横構図のものをお願いします）

なお、写真については、後日お返しいたします。

※送付の場合には必ず返送用の住所・氏名・電話番号を記入の上送付してください。

〒097-8686
稚内市中央３丁目13番15号
稚内市役所　議会事務局

議会のホームページを開設しました!

アドレスは
http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/gikai/
ぜひご覧下さい。

＊ホームページに関するご意見、ご要望がございましたら議会事務局にお聞かせ下さい。

編集後記

例年になく早い雪解けが進み、春の息吹が街中に活気づいています。と…言いたいところですが、稚内市の経済情勢は一向に好転する兆しはなく、サハリンからの活蟹の輸入問題等先行き不安な事ばかりが話題になっています。そのような中、市民の皆さんから議会に対しましても厳しい叱咤と期待を承る事が多くなりました。議会は稚内市のチェック機能を持っていますが、このような経済情勢の中では更に職員と共に公共利益（市民の利益）の為、クリエイトするパワーも持たなければいけないと考えます。皆さん、後ろ向きではなくどんな小さな可能性をも見逃さない前向きな発想と行動を持って一緒に歩みましょう。

広報誌に掲載する写真を募集したところ多くの応募がありましたことに深く感謝を申し上げ紙面を借りお礼と致します。

議会を傍聴しませんか

★手続きは簡単です★

お問い合せは
議会事務局
（電話23－6161・内線281）まで